

福島第一原子力発電所の廃止措置等の進捗状況

2026年9月、通算23回目（2026年度第5回目）となるALPS処理水の海洋放出が完了しました。引き続き安全を最優先に海洋放出を行ってまいります。

2026年度第5回目（通算23回目）放出の概要

福島第一原子力発電所
ALPS処理水放出設備
概略図



①処理水貯留タンク

放出予定のALPS処理水（約7,800m³）を性状分析のため測定確認用タンクへ移送しました。

②測定・確認用設備

トリチウム以外の放射性物質について、環境に放出する基準（告示濃度比総和 1未満）を満たしていることを確認しました。

告示濃度比総和：0.52

③希釈・放水設備

トリチウムを含んだ処理水を海水と混合し、政府方針により示された濃度（1,500ベクレル/リットル未満）を十分に満たすように希釈します。

海水希釈後のトリチウム濃度：最大223ベクレル/リットル

④放水口

放出期間中の海域モニタリング結果について、当社の運用目標値（発電所から3km以内：700ベクレル/リットル、10km四方内：30ベクレル/リットル）を全て下回っていることを確認しました。

【海水の分析結果】 2026年度第5回目の放出期間中（8月31日～9月18日）における最大値

トリチウム：61ベクレル/リットル（世界保健機関飲料水水質ガイドライン 10,000ベクレル/リットル以下）

セシウム-134：0.0085ベクレル/リットル（世界保健機関飲料水水質ガイドライン 10ベクレル/リットル以下）

セシウム-137：2.9※1ベクレル/リットル（世界保健機関飲料水水質ガイドライン 10ベクレル/リットル以下）

※1 降雨の影響と思われる一時的な上昇値を含みます。

IAEA（国際原子力機関）職員及び国際専門家が、放出開始以降も継続して福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー等を行っています。



ALPS関連設備をご視察する様子
（2026年5月13日撮影）

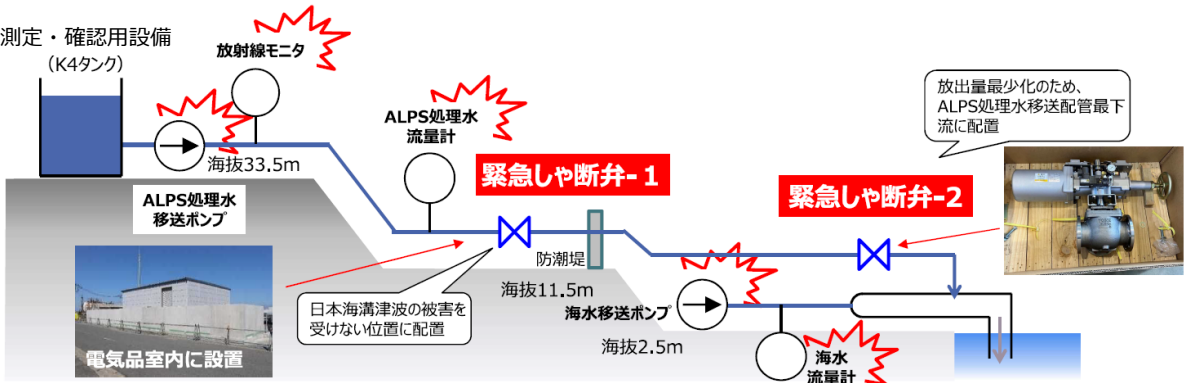


海水希釈後のALPS処理水を採取するサンプリングラックをご視察する様子（2026年5月13日撮影）



グロッシーIAEA事務局長
ご来所の様子
（2026年6月24日撮影）

予期せぬ放出を防ぐため、自然現象や設備の異常に対して計画的または自動的に放出を停止する機能を備えています。



計画的に停止するケース

- ・ 自然現象により放出に影響を与える可能性のある場合
 - 地震（大熊町または双葉町で震度5弱以上）
 - 津波（福島県沿岸に津波注意報）
 - 竜巻（大熊町または双葉町に発生確度Ⅱ）
 - 高潮（大熊町または双葉町にレベル4 高潮危険警報以上）
- ・ 海域モニタリングで異常値が検出された場合
- ・ その他 当直長が必要と認める場合

緊急しや断弁の作動により自動停止するケース

- ・ 下記の信号を検知した場合
 - ALPS処理水流量計の異常や故障
 - 海水流量計の異常や故障
 - ALPS処理水や海水移送ポンプの電源しや断
 - 放射線モニタからの警報や故障
 - 緊急しや断弁の通信異常

計画的に放出を停止した実績：4回

- 2024年3月15日 福島県沖を震源とする地震（震度5弱）
- 2025年7月21日 大熊町、双葉町での竜巻発生確度Ⅱ 発令
- 2025年7月30日 カムチャッカ半島付近の地震による津波注意報
- 2025年12月8日 青森県東方沖地震による津波注意報

緊急しや断弁の作動による自動停止：1回

- 2026年6月13日 落雷起因と思われる外部電源の瞬間的な停止※2による海水移送ポンプの流量低下

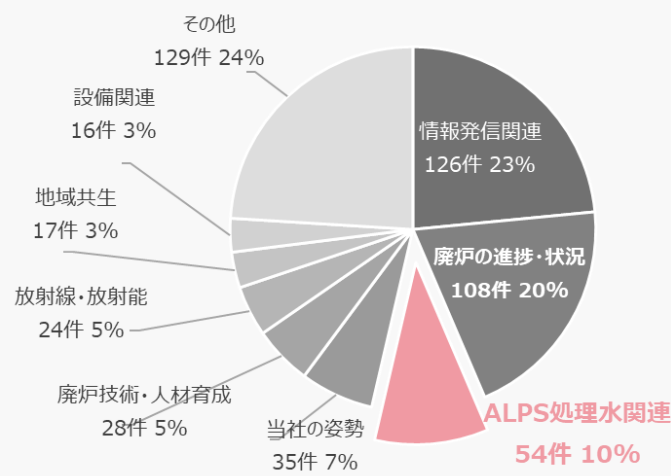
（13日 22時34分 放出再開）

※2 瞬間的に停止した当時、発電所周辺に雷雨が発生していたことを確認しています。

皆さまのご意見を伺いながら、継続的かつ分かりやすい情報発信を行ってまいります。

- 様々な機会をとらえて、社会の皆さまから廃炉の情報発信についてのご意見をお聞かせいただいています。
- ALPS処理水の海洋放出については、主に安全性や必要性へのご意見や質問をいただいています。
- 特に地域からは、海域モニタリングや地域利用への影響について関心が寄せられています。

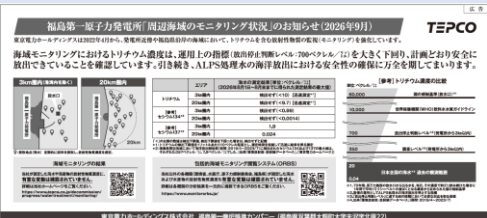
2026年度 第一四半期／Q.関心のある項目



※視察座談会・各アンケート結果より

- （ALPS処理水海洋放出について）安全性に問題ないことが理解できた。国際的に見てもかなり厳格な基準で処理されているという事実は知っていたが、今回の視察で、より具体的に数値的基準を知ることが出来た。（県外・視察参加者）
- ALPS処理水に関しては、まだ不安を抱いている方もいるのではないかと考えていたが、しっかりと対処されていて、情報の公開も行っていたことが理解できました。（県内・イベント来場者）
- ALPS処理水の放出や廃炉作業が安全に進んでいると聞いているし、引き続き市民や観光客の方の安心材料を発信してもらいたい。（県内・行政関係者）

● 新聞広告



● 駅でのデジタル広告



● ホームページ



ALPS処理水をはじめ、デブリ、燃料取り出しなどについても情報を発信しています